第14期　関西ぶらり散策

2026年10月21日訪問
３班　担当

だんじり会館・岸和田城・自然資料館

好天の秋空だったが、気温は30℃と季節外れの暑さであった。
訪れただんじり会館、岸和田城、自然資料館はほぼ同一区域にあり.
効率的な散策であった。
岸和田ボランティアガイドの皆様、暑い中熱心な説明をいただき、
ありがとうございました。

岸和田だんじり会館

大阪和泉・河内地区はだんじり祭りの盛んな地域であるが、
とりわけ岸和田地区は規模内容ともにトップクラスとのこと。
展示やビデオを見ているとやはり参加したくなってくる。



沼町だんじり
明治３４年（1901）製作。
当時2000円を町内で持ち寄り
（現在の約900万円）



紙屋町だんじり
天保１２年（1841）製作
平成２年引退　保存中



だんじり通路は意
外と狭いが
歩道やマンホール
など出来るだけ段
差を無くしている



引綱は延べ２００Ｍを超えるという。
みどころはだんじりを止めずに高速で
方向転換する豪快な「やりまわし」
勢い余っての横転事故も多い。

岸和田城



1585年、羽柴秀吉は紀州根来寺討滅後、叔父小出秀政を城主とし、秀政により城郭整備された。
1640年に岡部宣勝が入城し、以後は明治維新まで岡部氏13代が岸和田藩を統治した

天守閣から見た八陣の庭



天守閣や、航空機などで上空から観賞されることを意図して設計された、独創的なデザインの庭である。



文字通り「石垣筋」に残る石垣。
岸和田城公園からはやや離れており、城域はかなり広かったことが伺える。

きしわだ自然資料館

化石から推測復元された標本や珍しい生きた小動物などが展示され、岸和田が古代から自然豊かな地であったことを伺わせる。





